

令和9年度 ノートパソコン必携のご案内

～授業開始までに準備してください～

令和9年度 新入生（学部、大学院、特別支援教育特別専攻科）のみなさまへ

大阪教育大学 みらい ICT 先導センター

大阪教育大学では、ICT 基礎科目を中心とした授業でのパソコンの使用をはじめ、授業でのレポート作成や論文作成、教育実習でのパソコン利用、グループ学習など、大学生活の中で数多くの機会にパソコンとインターネットを活用します。

また授業の履修登録や成績閲覧の手続き、授業課題の提出、インターネットを活用した授業なども大学の Web サイトを通じて行います。みなさんが大学を卒業・修了した時には、獲得した知識とスキルを教育現場や社会で十分に発揮できるように、学生に個人のノートパソコンを利用してさまざまな活動を行ってもらうことを目的とし、ノートパソコン必携としております。

やむを得ない事情がない限り、新学期の授業開始までに自分専用のノートパソコンをご準備ください。

授業開始までに準備していただくノートパソコンの必要条件

準備していただくノートパソコンは、大学が指定する以下の条件を満たしていれば、すでにお持ちのノートパソコンで結構です。大学として、新たに特定のパソコンの購入をお願いするものではありません。授業開始日までにセットアップ作業（利用できるように環境設定等を行う作業；詳細は後述）を完了させるように準備してください。

なお、この必要条件は、卒業・修了まで使っていただくことを想定していますが、在学中の買い替えを妨げるものではありません。少なくともオペレーティングシステム（OS）のサポートが在学中に終了しないものにしてください。また、3 ページの「推奨」の条件も満たしたものにされることを推奨します。

1. 基本条件

- ・容易に持ち運べるノート型（ラップトップ型）パソコンであること。

2. ハードウェア条件

- ・無線 LAN（Wi-Fi）接続ができること。
- ・バッテリー駆動時間が、カタログスペックで 8 時間以上であること。
- ・ハードウェアキーボードを有すること。着脱式のキーボードでもよい。

3. ソフトウェア条件

- ・オペレーティングシステム（OS）：以下に示す 1)、2) の条件のいずれかを満たし、使用学生本人が管理者権限を有すること。

1) Microsoft Windows 11 25H2 以降

2) macOS Sonoma (14.7) 以降で、現行の最新バージョンである macOS Tahoe (26.0) にアップデート可能であること。

※利用予定の PC が Windows 11 に対応しているかどうかは、Microsoft 社の公式サイトに記載されています。すでに PC をお持ちの場合は、下記サイトにて対応可能かどうか、ご確認ください。

→ <https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-11-specifications>

※利用予定の Mac が Tahoe に対応しているかどうかは、Apple 社の公式サイトに記載されています。すでに Mac をお持ちの場合は、下記サイトにて対応可能かどうか、ご確認ください。

→ <https://www.apple.com/jp/macros/>

※ Windows と macOS のバージョンは 2026 年 10 月時点の想定です。

- ・ Office : Microsoft Office (Word、 Excel、 PowerPoint) の最新版がインストールされていること。
- ※大阪教育大学では、Microsoft 社と教育機関向け総合契約を締結しており、本学学生は Microsoft 365 Apps for enterprise (Microsoft Office 製品) を自分が所有するパソコン等に無料でダウンロードし、在学中に学内外で使用することができます。インストール方法は、入学後に別途案内いたします。なお、インストール済みのパソコンを購入された場合は、購入済のライセンスを利用することも可能です。
- ・ セキュリティ対策 : ウイルス定義ファイル等の自動更新が可能なセキュリティソフトがインストールされていること。 Windows 11 標準添付の Microsoft Defender でも可能です。希望者は、入学後に本学が包括契約しているセキュリティソフトを無料でダウンロードできます。ただし、対象となる OS は、Windows 11、 macOS Sonoma (14.7) 以降です。
- ※専攻・コースによっては、上記の必要条件よりも高性能な機種が必要となる場合があります。詳しくは、4 ページの「各専攻・コースからの留意事項」をご参照ください。
- ※大阪教育大学生協モデルのパソコンは、本学が包括契約する Office およびセキュリティソフトをインストールすることで上記の必要条件を満たし、各種サポートが付いています。
- URL: <https://ok.u-coop.net/welcome/>



4. セットアップの基準

授業開始日（入学手続要領に記載）になるまでに、次の事項を完了させてください。

☐ PC 本体の入手

☐ 初期設定（「PC 起動後、デスクトップ画面が表示され、操作可能な状態」まで設定してください）

※ 大学契約の Office ソフトウェア（Word、 Excel、 PowerPoint）及びセキュリティソフトのダウンロード及びインストールについては、入学後別途案内します。入学時に配布予定の「みらい ICT 先導センター利用者情報（利用承認書）」の情報が必要となります。

5. ノートパソコンの貸与について

やむを得ない事情で、ノートパソコンの貸与を必要とされる方は、大学から原則入学後 6 ヶ月間に限り貸与します。貸与基準等は、下記 Web サイトをご覧ください。大阪教育大学みらい ICT 先導センターにお問い合わせください。

→ URL: <https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/byodinfo>



6. 障がい等のある方への事前相談

障がい又は病気その他の理由で、ノートパソコン携行に際して配慮を希望される方は、障がい学生修学支援ルームにご相談ください。

→ TEL・FAX 072-978-3479 E-mail sienroom@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

※大学のホームページでも、下記 Web ページ「ノートパソコンの必携について」にて随時同様の内容を記載しておりますとともに、「Q&A」も掲載しておりますのであわせてご確認ください。

→ URL: <https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/byodinfo>

大学トップページ

> 「入学希望の方」

> 「大学の教育について知りたい」

> 「ノートパソコン必携」



お問い合わせ先

大阪教育大学 みらい ICT 先導センター 平日 8:45～17:00

E-mail: [staff\(at\)cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:staff(at)cc.osaka-kyoiku.ac.jp) TEL: 072-978-3824

【ノートパソコンの必要条件チェックリスト】

項目	必要条件	チェック
無線 LAN (Wi-Fi) 原則すべての講義室で無線 LAN が利用できます。	【推奨】 Wi-Fi6(IEEE802.11 ax)に対応したネットワークアダプタ 【必要条件】 Wi-Fi4/5/6(IEEE802.11 n/ac/ax)の各規格のうち、いずれか 1 つ以上に対応したネットワークアダプタ	
バッテリー駆動時間 パソコンの連続動作時間に影響します。	【必要条件】 カタログスペック 8 時間以上 学内の講義室では充電できません。PC 持参時に満充電しておく必要があります。	
ハードウェアキーボード 文字入力に利用します。	【必要条件】 ハードウェアキーボード（物理的なキーボード）	
オペレーティングシステム (OS)	【推奨】 Microsoft Windows 11 26H2 以降 又は macOS Tahoe (26.0) 【必要条件】 Windows 11 25H2、又は macOS Sonoma (14.7) 以降がインストールされており、現行の最新バージョンである macOS Tahoe (26.0) にアップデート可能であること	
Office (文書作成、表計算、プレゼンテーション) レポートやプレゼン資料の作成・発表に利用します。	【必要条件】 Microsoft 社の Microsoft 365 Apps for enterprise (Word、Excel、PowerPoint) の最新版 本学学生は Office アプリケーションを自分が所有するパソコン等に無料でダウンロード可能です。インストール方法は入学後に別途案内いたします。 (自身で既に利用しているアプリケーションの利用を妨げるものではありません)	大学ライセンスでインストール可能
セキュリティ対策	【必要条件】 ウイルス定義ファイル等の自動更新が可能なセキュリティソフト Windows 11 標準添付の Microsoft Defender でも使用可能です。なお、本学在学中は本学が包括契約するセキュリティソフトを入学後に無料でダウンロード可能です。インストール方法は入学後に別途案内いたします。	大学ライセンスでインストール可能

以下の項目は、ノートパソコンを準備する際の参考としてください。

項目	目安とする性能	チェック
重量 持ち運びが簡単な、軽量かつ薄型のモデルを選びましょう。	1.3kg 以下を推奨 一般的に光学ドライブ (CD/DVD/BD ドライブ) を搭載しているモデルは重くなります。外付けの光学ドライブを購入すれば、ディスクを読み込むことができますので、日頃の持ち運びのことを考慮すれば、光学ドライブ無を推奨します。	
CPU パソコンの動作速度に大きく影響します。	Intel 社の Core Ultra 5 以上又は AMD 社の第 5 世代 Ryzen5 以上を推奨 なお、ARM 系 CPU 搭載のパソコンでは、本学で利用するソフトウェアが一部使用できない場合があるのでご注意ください。	
メモリ メモリ容量は多い方が、一度にたくさんのアプリを起動して作業ができます。	16GB 以上を推奨 薄型パソコンの場合は増設が困難な場合もあるのでご注意ください。	
ストレージ データの保存場所です。	SSD (ソリッドステートドライブ; 回転機構なし) : 256GB 以上を推奨 SSD は HDD とくらべて高速で消費電力も低いです。	
外部出力端子 授業中にプレゼンをするときなどに、プロジェクタなどの外部モニタに接続する際に必要となります。	画面出力対応の USB Type-C 端子を備えるか、画面出力端子 (HDMI・VGA) を備えるものを推奨 USB Type-C 対応の変換コネクタが設置 (柏原キャンパス講義室)、USB Type-C 対応の変換コネクタを教員に貸出 (天王寺キャンパス講義室) のほか、AV 機器の端子として HDMI 又は VGA (D-SUB、RGB) を備えています。 	
マイク、カメラ、スピーカー Web 会議システムを利用した授業やゼミに利用する際に必要となります。	内蔵されているモデルを推奨 インターネットを活用した授業をはじめ、学生生活を過ごす上で、「Zoom」や「Meet」等の Web 会議システムを活用する際、円滑な議論を行うために、最低限マイク・カメラ・スピーカーが内蔵のものを推奨します。高性能 (高画質・高音質) な品質を希望する場合は、内蔵品ではなく別途外付けの機器の入手を検討してください。	

※ この表に記載している性能はあくまでも推奨であり、必ず記載された性能を要求するものではありません。しかしながら、今後の大学生活を送る上で、授業やゼミの演習、課外活動で利用することを考えた時に、いずれも必要となってくる性能であることにご注意ください。

授業開始日 (入学手続要領に記載) までに PC のセットアップを完了させてください。

☐ PC 本体の入手

☐ 初期設定 (「PC 起動後、デスクトップ画面が表示され、操作可能な状態」まで設定してください)

【各専攻・コースからの留意事項】

専攻・コースによっては、1～2ページの「必要条件」以外に下表の留意事項があります。

表に記載がない専攻・コースは、1～2ページの「必要条件」を満たすパソコンをご準備ください。

課程	専攻・コース	留意事項
学校教育教員養成課程	次世代教育専攻 ICT教育コース	必要スペック以上の処理能力とストレージ容量を有するパソコンを用意してください。また、ICT教育コースではWindowsを基本として授業を実施します。macOSの端末を準備する場合、演習等でWindowsと異なる演習環境となり、アプリのインストール等、細かなPC運用を自己責任で実施できるスキルを入学時点から求めることになりますので、PC活用・運用に自信がない方は、macOSの端末を大学用の必修端末として選択することは避けるようにしてください。
	教科教育専攻 国語教育コース	ペン入力デバイスが使用できる環境を整えること。
	教科教育専攻 英語教育コース	1) ソフトの互換性や実習校で多く使われているなどの理由から、Mac パソコンではなく Windows パソコンを推奨する。ただし、Windows パソコンであっても、Snapdragon をはじめとする、ARM 系 CPU 搭載のものは推奨しない（ARM 系 CPU を搭載しているパソコンについて調べるには、「ARM プロセッサ搭載 Windows パソコン一覧」と Google などで検索すること）。 2) バッテリーが 10 時間以上持続し、音声出力端子および HDMI 出力端子および USB 端子を備えている機種を推奨する。 3) 上記の 2) の条件を満たしていない機種については、予備のバッテリーあるいはモバイルバッテリー、および、音声出力端子と HDMI 出力端子と USB 端子を備えた USB ハブを講義に持参する必要がある。
	教科教育専攻 社会科教育コース	Windows PC を推奨します。
	教科教育専攻 技術教育コース	グラフを含んだレポート作成、プログラム作成・コンパイルや CAD ソフトを利用しますので、画面が 12 インチ以上のノートパソコンを推奨します。また、3 頁の重量、CPU、メモリ、ストレージ、外部出力端子、マイク等の推奨条件を満たすパソコンを勧めます。
	教科教育専攻 音楽教育コース	大学の推奨する必要スペック以上の処理能力とストレージ容量を有していれば、Windows、Mac どちらを使用しても構いません。どちらの場合も基本的な操作を習得しておいてください。
	教科教育専攻 保健体育コース	Windows PC を推奨します（Windows を基本として実施する授業があります）
教育協働学科	教育イノベーション専攻 数理・知能情報コース	必要スペック以上の処理能力とストレージ容量を有するパソコンを用意してください。数理・知能情報コースでは Windows を基本として授業を実施しますので、標準的には Windows 端末を推奨します。macOS の端末を準備する場合、演習等で Windows と異なる環境となるため、アプリのインストールや開発環境の構築などを自己責任で行えるスキルが入学時点から必要になります。一方で、macOS は Unix 系 OS としてシステム開発との親和性が高い側面もあり、PC の運用に自信のある方の選択を妨げるものではありません。
	教育イノベーション専攻 環境安全科学コース	Windows PC を推奨します。大学の推奨する必要スペック以上の処理能力とストレージ容量を有するパソコンを用意してください。
	教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 美術分野	推奨 PC 仕様 ・メモリ：16GB 以上 ・ストレージ：SSD 512GB 以上 OS・機種について ・Windows、Mac のいずれでも構いません。 ・MacBook を選択する場合は、MacBook Air（16GB 以上）を推奨します。授業で使用する範囲では、MacBook Pro を選択する必要はありません。 ・MacBook Neo でも授業を受けることは可能ですが、Adobe ソフトウェアを使用する際には、メモリ容量の制約により動作が遅く感じられる場合があります。4 年間の使用を考慮すると、MacBook Air を推奨します。 Apple 製品購入時のポイント ・大学生協で希望する機種を取り扱っていない場合は、Apple Store 等の学生・教職員向け割引を利用するとお得に購入できます。 ・持ち運ぶ機会が多いため、「AppleCare+ for Mac」への加入をお勧めします。 Adobe ソフトウェアについて ・Adobe Creative Cloud のライセンスについては、授業開始後に担当教員よりご案内します。授業で使用するために、入学前から準備していただく必要はありません。 ご不明な点がある場合 ・美術分野への進学を予定しており、必修 PC の仕様についてご質問がある場合は、事前にご相談ください。
	教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	Windows PC を推奨します（Windows を基本として実施する授業があります）